



九州大学記者クラブ会員 各位

九州大学先端素粒子物理研究センター開所式等について

平成24年10月1日に先端素粒子物理研究センターが設置されることに伴い、下記のとおり開所式等を挙りますので、お知らせいたします。

なお、センターの概要につきましては別紙1（平成24年9月21日プレスリリース）を、銘板除幕式、開所式、記念講演の会場位置につきましては別紙2をご覧ください。

記

1. 銘板除幕式

日 時：平成24年10月1日（月）15時45分～
会 場：理学部二号館 物理学教室玄関

2. 開所式

日 時：同 日 16時～
会 場：理学部二号館 2階 大会議室
次 第：
・開式の辞 荒殿 誠 理学研究院長
・総長挨拶 有川 節夫 総長
・来賓祝辞 岡田 安弘 高エネルギー加速器研究機構理事
馬場 忠久 福岡県商工部長
・概況説明 川越 清以 先端素粒子物理研究センター長
・閉式の辞 荒殿 誠 理学研究院長

3. 記念講演

日 時：同 日 16時30分～
会 場：理学部二号館 2階 大会議室
講演者：駒宮 幸男 東京大学大学院理学系研究科教授
素粒子物理国際研究センター長
テーマ：「素粒子物理最前線2012」

【お問い合わせ】

九州大学理学部等事務部 横大路
電話：092-642-2517
FAX：092-642-2522
Mail：tyokooji@sci.kyushu-u.ac.jp



素粒子物理の新しい研究センターがスタート

－先端素粒子物理研究センター（Research Center for Advanced Particle Physics）の設置について－

概要

九州大学では、理学研究院に平成 23 年度に素粒子実験研究室を創設し、さらに平成 24 年度には大学改革活性化制度による「素粒子原子核研究特区」を創設することで、ビッグサイエンスの推進を図ってきました。LHC 実験でヒッグス粒子とみられる新粒子が発見され、次世代加速器計画として国際リニアコライダーが注目を浴びるなか、九州大学に素粒子物理学の国際的な研究・教育拠点を形成するため、学内共同教育研究施設として先端素粒子物理研究センターを開設します。10 月 1 日に開所式を行います。

背景

九州大学では、理学研究院に平成 23 年度に理学研究院に素粒子実験研究室を創設し、さらに平成 24 年度には大学改革活性化制度による「素粒子原子核研究特区」を創設することで、ビッグサイエンスの推進を図ってきました。今年 2 月から、九州大学は CERN 研究所で行われている LHC/アトラス実験の参加研究機関となり、7 月 4 日に発表され世界的ニュースとなった「ヒッグス粒子とみられる新粒子の発見」に貢献できました。また、次のプロジェクトとして日本への誘致が期待される次世代加速器・国際リニアコライダー(ILC)計画では、脊振山地がその建設候補地であることから、学問的貢献はもとより、地質調査の遂行や学術研究都市構想の策定でも中心的役割を果たしています。

内容

九州大学に素粒子物理学の国際的な研究・教育拠点を形成するため、先端素粒子物理研究センターを開設します。本センターは理学研究院を母体としますが、今後の活動はその枠を超えて大学全体で対応する必要があるため、学内共同教育研究施設とします。本センターには以下の 3 部門を設置します。

- ・テラスケール物理実験部門：素粒子物理の実験的研究。当面は LHC 加速器でのアトラス実験に参加し、測定器の運転・データ収集と物理解析を行います。
- ・次世代加速器実験推進部門：次世代加速器実験を推進するため、物理研究・測定器開発や建設候補地の地質調査、学術研究都市構想の検討等を行います。
- ・テラスケール物理理論部門：素粒子物理の理論的研究。実験部門と協力して標準理論を超える新しい理論・モデルの構築を行います。

効果

1. 大型国際共同実験の中で目に見える成果を出すには、優れた人材を集めて量的にも充実した研究チームを作ることが必要です。本センター設置により、理学研究院の枠を超えて研究組織を強化できます。
2. 現在、九州大学から 2 名の研究者が CERN 研究所に常駐し、アトラス実験で活躍しています。研究組織の強化により、これからのヒッグス粒子の研究や、更なるノーベル賞級の発見に大きく貢献できます。
3. ILC 計画のための地質調査、学術研究都市構想について、地元自治体、経済界とともに、大学全体で取り組みます。本センターが中心となって進めていくことで、誘致できる環境が整います。
4. 最先端加速器による素粒子研究は、知の最前線を開拓するだけでなく、技術革新の牽引役としての波及効果も期待できます。もし ILC 国際研究所を脊振山地に誘致できれば、その効果は計り知れません。誘致できない場合でも、アジアにおける素粒子物理の中核拠点として大きな学問的成果を生み出します。
5. 大規模国際共同実験を通じて双方向の国際交流が盛んになり、外国人教員や留学生の増加、国際的に通用する人材の育成等、九州大学の国際化に貢献できます。

■今後の展開

本センターの設置は、日本の基幹総合大学である九州大学が、基礎科学（物理学）の最先端領域で起こっている大転換を的確に見極めた上で、世界に対して大きな役割を担おうというものです。まだ小さな組織ですが、これを核として研究成果をあげながら増強を図り、素粒子物理の真の国際的教育研究拠点へ成長させていきます。

なお、本センターの時限は5か年半（平成24年10月1日～平成30年3月31日）です。開所式を10月1日16:00から理学部大会議室で開催します。

【お問い合わせ】

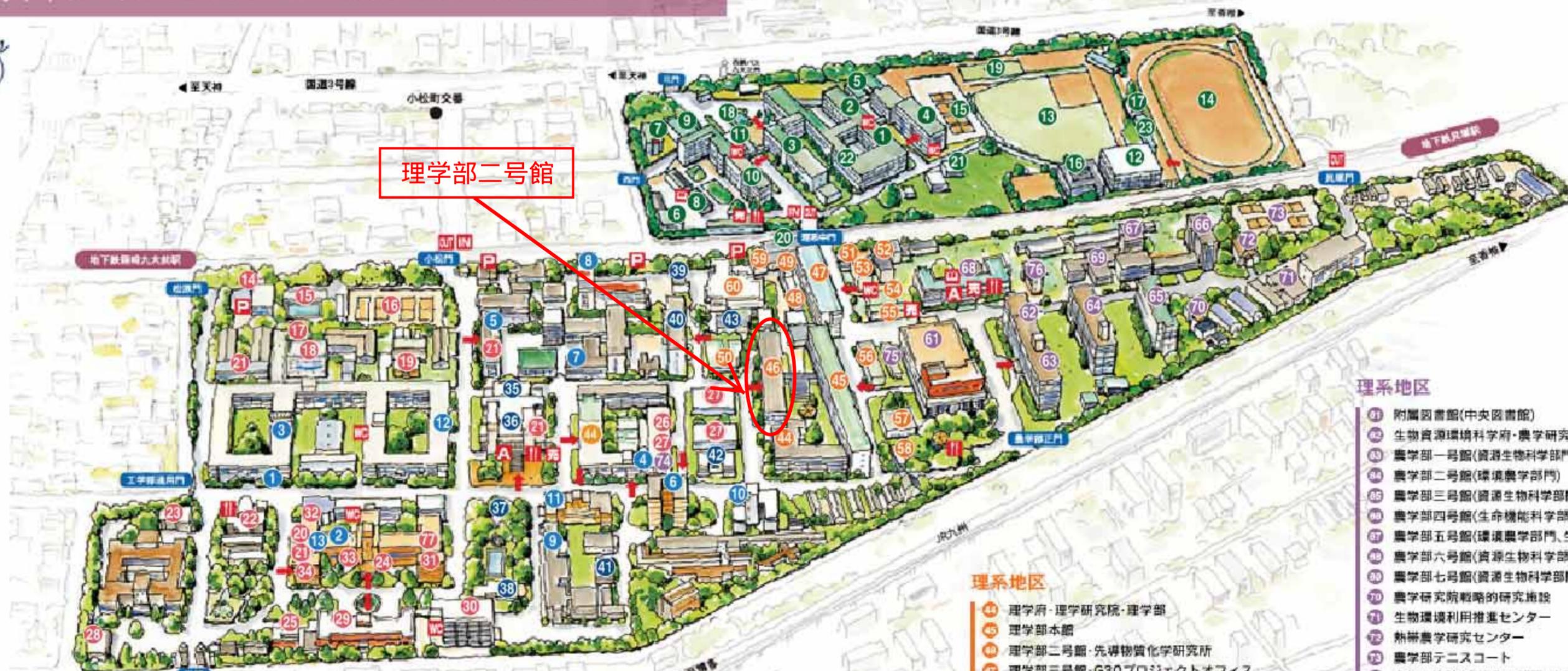
理学研究院教授 川越 清以（かわごえ きよとも）

電話：092-642-2536

FAX：092-642-2553

Mail：kawagoe@phys.kyushu-u.ac.jp

箱崎キャンパス 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 代表電話：092-642-2111



- ← 入口
- II 食堂
- 売 売店
- WC 多目的トイレ
- P 駐車場
- A ATM
- IN 車輛入口
- OUT 車輛出口
- バス停

理学部二号館

理系地区

- 01 附属図書館(中央図書館)
- 02 生物資源環境科学府・農学研究院・農学部
- 03 農学部一号館(資源生物科学部門、環境農学部門、農業資源経済学部門)
- 04 農学部二号館(環境農学部門)
- 05 農学部三号館(資源生物科学部門、環境農学部門、生命機能科学部門)
- 06 農学部四号館(生命機能科学部門)
- 07 農学部五号館(環境農学部門、生命機能科学部門)
- 08 農学部六号館(資源生物科学部門、生命機能科学部門)
- 09 農学部七号館(資源生物科学部門、環境農学部門、生命機能科学部門)
- 10 農学研究院戦略的研究施設
- 11 生物環境利用推進センター
- 12 熱帯農学研究センター
- 13 農学部テニスコート
- 14 農学研究院(環境農学部門、生命機能科学部門)
- 15 農学部附属遺伝子資源開発研究センター(微生物遺伝子開発分野)
- 16 農学部二号館別館(植物代謝制御学分野)

理系地区

- 44 理学府・理学研究院・理学部
- 45 理学部本館
- 46 理学部二号館・先端物質化学研究所
- 47 理学部三号館・630プロジェクトオフィス
- 48 理学部四号館
- 49 国際宇宙天気科学・教育センター
- 50 低温センター(箱崎地区センター)・極低温実験室
- 51 韓国研究センター
- 52 健康科学センター箱崎分室
- 53 留学生センター
- 54 国際ホール
- 55 国際部・国際交流推進室
- 56 海外大学ランチオフィス
- 57 外国人留学生・研究者サポートセンター
- 58 システム生命科学府
- 59 箱崎理系地区21世紀交流プラザII
- 60 留学生センター分室
- 61 理学研究院附属工場
- 62 原子核実験室

理系地区

- 32 女性研究者キャリア開発センター
- 33 国際法務室
- 34 同窓生サロン
- 37 科学技術イノベーション政策教育研究センター

理系地区

- 35 創立五十周年記念講堂
- 36 ファカルティクラブ
- 37 地蔵森・工学部創立75周年記念庭園
- 38 箱崎理系地区21世紀交流プラザI
- 39 加速器・ビーム応用科学センター
- 40 ガンマ線照射施設
- 41 情報統括本部(情報基盤研究開発センター)
- 42 環境安全センター
- 43 学際教育・研究交流棟リセウム悠遊
- 44 アイソトープ総合センター

工学系地区

- 2 旧工学部本館
- 6 旧工学部五号館(総合新領域学府)
- 7 工学部建築学科
- 13 工学府附属ものづくり工学教育研究センター

理系地区

- 14 弓道場
- 15 箱崎地区プール
- 16 テニスコート
- 17 食学連携棟I(新道パビリオン)
- 18 食学連携棟II(キャリア支援センター)
- 19 イノベーション人材育成センター、有体物管理センター
- 20 食学連携棟I
- 21 [ロボット・ファン/アントレプレナーシップ・センター]
- 22 グラミン・クリエイティブ・ハウス
- 23 EUセンター
- 24 総合研究博物館
- 25 附属図書館付設記録資料館書庫
- 26 アドミッションセンター
- 27 大学文書館
- 28 大学評価情報室
- 29 言語文化研究院箱崎分室
- 30 先端物質化学研究所
- 31 附属図書館付設記録資料館産業経済資料部門
- 32 本部第一庁舎
- 33 本部第二庁舎
- 34 高等研究院

旧工学系地区 (伊都キャンパスへ移転しています。)

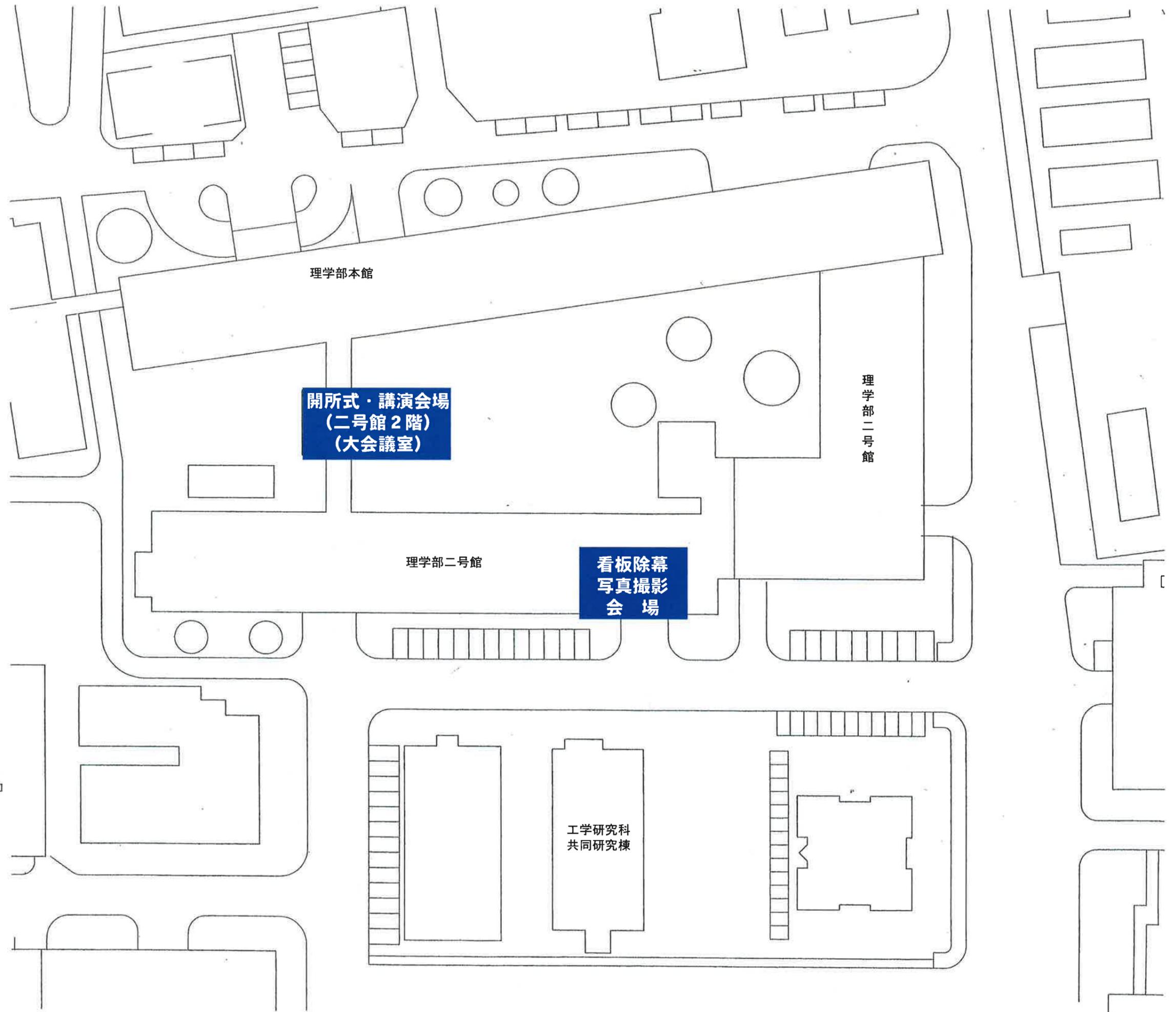
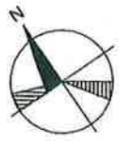
- 1 旧工学府・工学研究院・工学部
- 2 旧工学部本館(建設デザイン部門、環境都市部門、エネルギー・量子工学部門)
- 3 旧工学部二号館
- 4 旧工学部三号館(地球資源システム工学部門)
- 5 旧工学部四号館(環境都市部門、建設デザイン部門)
- 8 旧工学部六号館(エネルギー・量子工学部門)
- 9 旧応用化学(分子)
- 10 旧航空工学
- 11 旧応用化学(機能)
- 12 旧システム情報科学府・システム情報科学研究院
- (知能システム学部門、情報工学部門、電気電子システム工学部門、電子デバイス工学部門)

文系地区

- 1 人文科学府・人文科学研究院・文学部
- 2 人間環境学府・人間環境学研究院・教育学部
- 3 法学府・法務学府(法科大学院)・法学研究院・法学部
- 4 経済学府・経済学研究院・経済学部
- 5 産業マネジメント専攻(ビジネス・スクール)
- 6 文・教育・人環研究棟
- 7 箱崎文系地区21世紀交流プラザ
- 8 人間環境学府附属総合臨床心理センター・臨床心理実習棟
- 9 中講義室
- 10 大講義室
- 11 共通講義棟
- 12 貝塚地区教務棟、外国人留学生・研究者サポートセンター
- 13 中央体育館
- 14 総合グラウンド
- 15 課外活動共用施設
- 16 庭園
- 17 法科大学院講義棟
- 18 文系合同図書室
- 19 野球場
- 20 貝塚テニスコート
- 21 トレーニング室
- 22 洋弓場
- 23 就職情報室
- 24 研修センター

理系地区 (伊都キャンパスへ移転しています。)

- 45 理学部本館(理学部数学科・数理学府・数理学研究院)
- 46 理学部三号館(システム情報科学府・システム情報科学研究院、情報理学部門、数理学府・数理学研究院)
- 47 理学部四号館(数理学府・数理学研究院)



理学部本館

開所式・講演会場
(二号館2階)
(大会議室)

理学部二号館

理学部二号館

看板除幕
写真撮影
会場

工学研究科
共同研究棟

10

50